

歩いて楽しい長町の街並みを考えよう！

ながまち タイムス

NAGAMACHI TIMES

詳しい情報は
こちらのページから⇒



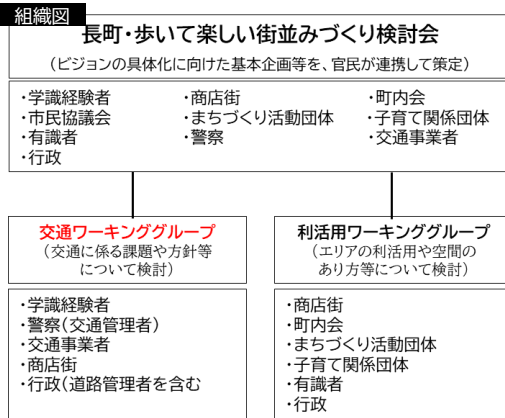
第7号
令和6年8月14日
太白区 発行

長町・歩いて楽しい街並みづくり検討会

第1回交通ワーキンググループが開催されました！

太白区では、長町商店街エリアについて、商業機能と文化機能が連携したにぎわいのある、歩いて楽しい歩行者空間や街並みの形成を図ることを目的として、令和6年3月に「長町・歩いて楽しい街並みの将来像（ビジョン）」を策定しました。

ビジョンの具体化に向けて、官民が連携して「長町・歩いて楽しい街並みづくり検討会※」を6月に立ち上げ、7月17日には、検討会の分科会の1つである交通ワーキンググループを開催いたしましたので、その議論の一部をご紹介します。



【第1回交通ワーキンググループでの主な意見】 ※第1回は、委員の皆さまから、事業について幅広く意見をいただきました。

警察

- 車の交通量については、当該道路だけではなく、**幅広く周辺道路に対する影響を調査・把握するべき。**
- 社会実験する際に、先に形を決めてやろうとすると大体上手くいかない。

商店街連合会

- 今までの車社会中心であったものを人中心に変え、**良い通りというのを未来に残したい。**
- 長町の魅力は中心部と違って下町。下町の魅力をアピールできるような道路づくりを期待している。

道路管理者

- 当該道路は**自転車も多いし、子供たちも多く通っている。**
- 横断する場所をもっと欲しいという声も聞く。商店街として東西に横断しやすくしたいと思うが、安全性も考えなければいけない。

交通事業者

- 自転車は非常に多い。自転車とバスの安全性が懸念。うまく動線分離できれば、良いモデルケースになるのではないかと。
- バスの利用者が増えるような事業になることを期待**している。
- 道路空間の再構成は手段で、目的はにぎわい創出。にぎわい創出のために人を運んでくるのは公共交通。

学識経験者(座長)

- そもそも「**歩いて楽しい**」とはどういうものかということ、交通WGや利活用WG、街の方の意見等を踏まえ形成し、**それを実現できる交通の姿と道路空間の整備を議論していければよい。**



今後とも長町の将来を見据えて話し合いを進めてまいります。



Voice of Editor

長町商店街エリアの「歩いて楽しい街並みづくり」が本格化しております。引き続き、地域の皆様に事業の進捗をタイムリーにお伝えしてまいります。

【事業へのご意見等についてもお気軽にお寄せください。】

太白区まちづくり推進部長町地域活性化推進室

☎ 022-247-1111 (代表)

ご意見等はこちらから⇒

